



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エンプラス
コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員 (氏名) 藤田 慈也 TEL 03-6268-0259
財務経理本部 本部長

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	19,200	△9.0	2,616	△39.9	3,095	△31.3	1,798	2.1
2023年3月期第2四半期	21,097	30.9	4,355	163.2	4,508	194.4	1,762	93.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,915百万円 (△16.6%) 2023年3月期第2四半期 4,695百万円 (338.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	203.81	200.89
2023年3月期第2四半期	199.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	58,226	50,916	86.1	5,678.75
2023年3月期	54,599	47,307	85.3	5,276.10

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 50,135百万円 2023年3月期 46,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	30.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	△6.5	5,400	△38.8	6,000	△31.7	4,200	△9.1	475.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

業績予想の修正については、本日（2023年10月27日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	9,732,897株	2023年3月期	9,732,897株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	904,216株	2023年3月期	910,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	8,825,118株	2023年3月期2Q	8,818,793株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2023年10月27日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、インフレ率の鈍化や利上げ一巡により持ち直している一方、物価高の再燃、中国経済の景気減速懸念、地政学的な緊張の高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

米国においては、良好な雇用・所得環境により個人消費は底堅く推移しているものの、金融の引き締めの影響を受けて製造業を中心に企業の経済活動を下押ししております。

中国においては、不動産市場の悪化、輸出の低迷、個人消費の回復遅れなど景気減速が継続しております。

新興国・地域においては、世界景気の減速を受けて輸出が低迷しているものの、インバウンド需要の回復が景気を押し上げています。

わが国経済は、供給制約の緩和や経済活動の正常化、サービス消費の拡大により、景気は緩やかに回復しております。

このような状況の中、当社が関連する市場においては、世界経済の減速や半導体需要の低迷など、依然として不透明な状況が続いております。

当社は、顧客のニーズに対して当社グループの技術やソリューション提案力の強みを繋げることにより、課題の解決を通し社会に貢献するとともに、新規事業創出の機会としてまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は19,200百万円（前年同期比9.0%減）となり、営業利益は2,616百万円（前年同期比39.9%減）、経常利益は3,095百万円（前年同期比31.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,798百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「Semiconductor事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、自動車用途が底堅く推移したものの、サーバー用途、モバイル用途は市場の落ち込みが継続し、売上高は低調に推移しました。当第2四半期連結会計期間においては、自動車用途の需要は第1四半期連結会計期間より減速し、モバイル用途の需要は増加しました。半導体需要の調整は、当初想定より長引いているものの、特に当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は中期的には増加傾向が続くと予想され、それに伴い当社の売上高も堅調に推移すると見込んでおります。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,688百万円（前年同期比25.4%減）、セグメント営業利益は1,250百万円（前年同期比60.0%減）となりました。

「Life Science事業」

遺伝子検査用製品は、顧客の生産調整が継続し、売上高は低調に推移しました。今後はコスト構造の見直しおよび高機能・高付加価値デバイスに特化した提案を加速させ、収益改善を進めてまいります。なお、当該Life Science事業には、新規分野への先行投資や新事業開発が含まれております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,260百万円（前年同期比27.7%減）、セグメント営業損失は681百万円（前年同期は165百万円のセグメント営業損失）となりました。

「Digital Communication事業」

光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域において高いシェアを維持し、売上高は好調に推移しました。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が継続し、売上高は低調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,972百万円（前年同期比60.9%増）、セグメント営業利益は1,643百万円（前年同期比121.8%増）となりました。

「Energy Saving Solution事業」

自動車用部品は自動車の生産回復、自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により、売上高は堅調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,279百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント営業利益は405百万円（前年同期比37.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は58,226百万円となり、前連結会計年度末比3,627百万円の増加となりました。

流動資産につきましては2,233百万円増加しました。主な変動要因は未収消費税等で599百万円、原材料及び貯蔵品で245百万円減少したものの、現金及び預金で3,108百万円増加したことによるものです。

固定資産につきましては1,393百万円増加しました。主な変動要因は有形固定資産で1,235百万円、投資その他の資産で152百万円増加したことによるものです。

負債は7,310百万円となり、前連結会計年度末比18百万円の増加となりました。

流動負債につきましては360百万円減少しました。主な変動要因は未払金で419百万円減少したことによるものです。

固定負債につきましては378百万円増加しました。主な変動要因はリース債務で389百万円増加したことによるものです。

純資産は50,916百万円となり、前連結会計年度末比3,609百万円の増加となりました。主な変動要因は為替換算調整勘定で1,901百万円、利益剰余金で1,530百万円増加したことによるものです。

その結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は86.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日(2023年10月27日)に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,766	23,875
受取手形及び売掛金	9,874	9,784
製品	1,201	1,195
仕掛品	724	776
原材料及び貯蔵品	2,753	2,507
未収消費税等	1,067	467
未収還付法人税等	79	158
その他	995	1,090
貸倒引当金	△24	△184
流動資産合計	37,438	39,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,448	3,574
機械装置及び運搬具(純額)	2,133	2,308
工具、器具及び備品(純額)	1,162	1,258
土地	6,838	6,871
使用権資産(純額)	1,320	1,737
建設仮勘定	364	753
有形固定資産合計	15,268	16,504
無形固定資産		
ソフトウェア	142	155
その他	77	69
無形固定資産合計	220	225
投資その他の資産	1,671	1,824
固定資産合計	17,161	18,554
資産合計	54,599	58,226

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,162	1,130
リース債務	290	350
未払金	1,268	848
未払費用	635	677
未払法人税等	1,166	1,093
契約負債	151	124
賞与引当金	828	818
転貸損失引当金	25	28
役員賞与引当金	68	56
災害損失引当金	—	78
その他	319	350
流動負債合計	5,918	5,558
固定負債		
リース債務	1,054	1,444
退職給付に係る負債	83	82
繰延税金負債	27	31
転貸損失引当金	57	50
その他	150	143
固定負債合計	1,373	1,751
負債合計	7,292	7,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	1,998	2,013
利益剰余金	36,182	37,713
自己株式	△3,276	△3,255
株主資本合計	42,984	44,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	222
為替換算調整勘定	3,460	5,361
その他の包括利益累計額合計	3,563	5,583
新株予約権	53	87
非支配株主持分	705	693
純資産合計	47,307	50,916
負債純資産合計	54,599	58,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	21,097	19,200
売上原価	11,073	10,285
売上総利益	10,024	8,915
販売費及び一般管理費	5,668	6,298
営業利益	4,355	2,616
営業外収益		
受取利息	16	138
受取配当金	7	7
為替差益	446	348
スクラップ売却益	27	31
その他	35	35
営業外収益合計	532	560
営業外費用		
支払利息	28	36
持分法による投資損失	346	—
支払補償費	—	34
その他	5	11
営業外費用合計	379	81
経常利益	4,508	3,095
特別利益		
固定資産売却益	12	29
投資有価証券売却益	—	8
その他	1	0
特別利益合計	13	37
特別損失		
固定資産売却損	2	4
減損損失	108	—
災害損失引当金繰入額	—	101
投資有価証券評価損	1,433	—
事業再構築費用	—	103
貸倒引当金繰入額	—	161
特別損失合計	1,544	370
税金等調整前四半期純利益	2,977	2,762
法人税、住民税及び事業税	1,099	1,046
法人税等調整額	△2	△135
法人税等合計	1,097	910
四半期純利益	1,880	1,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	118	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,762	1,798

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,880	1,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	118
為替換算調整勘定	2,971	1,944
持分法適用会社に対する持分相当額	△227	—
その他の包括利益合計	2,814	2,062
四半期包括利益	4,695	3,915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,541	3,818
非支配株主に係る四半期包括利益	153	96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。